

PRESS RELEASE 2010年10月25日

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

ハイチ コレラ感染拡大 発生予防のため、ポルトープランスでの活動を実施しています

WHO(世界保健機構)とハイチ保健省の発表によると、ハイチ北西部で集団発生しているコレラによって、これまでに253人が死亡、3,015人の感染が拡大されました。そのうちの多くはアーティボニト県で発生していますが、**今後、広域での感染拡大が懸念されており、ワールド・ビジョンも発生予防のための活動を実施しています。**

20日(水)、ハイチ保健省の協力のもと、ワールド・ビジョンは12人の看護師、医者、50人のコミュニティヘルスワーカーから成る医療チームをミレバライスに派遣。7校の学校で3,000人の子どもたちに対してコレラ感染拡大についての啓発キャンペーンを実施しました。また、水質、衛生設備、トイレの検査、口経補水用飲料、石けん、水処理剤の配布を行うとともに、コレラ感染予防についてのメッセージを伝えました。

24日(日)には、ポルトープランスの3カ所の避難キャンプで、1,441世帯に石けんを配布し、トイレの清掃、タンクの沈殿物の除去を行いました。また、スタッフは配布する水の塩素処理レベルを確認しています。避難キャンプでの手洗い場も追加で設置されており、キャンプで生活する人々に、手洗いと衛生の重要性を伝えていきます。



避難キャンプで石けんを配布する
ワールド・ビジョンスタッフ

ポルトープランスで活動している、ワールド・ビジョンのプログラムディレクター、サブリーナスタッフは語ります。「私たちは、ハイチの保健省、WHO、その他の人道支援団体と調整し、効果的、効率的に対応できるようにしています。発生を防ぐためには、迅速な発見と治療が不可欠です」

コレラの発生がポルトープランスに近づくなか、ワールド・ビジョンは避難キャンプ内の活動地域を“検疫所”とみなしています。スタッフはコレラの兆候を判別できるよう訓練され、感染の疑いがある場合は病院に搬送できるよう、トラックを配備しています。また、スタッフ自身の感染予防のため、フェイスマスクと手袋を支給しています。

「現在最も弱い立場に置かれているのは、栄養不良の子どもたち、HIV/エイズとともに生きる人々、高齢者です。これからどのような事態になるかは分かりません。しかし今最も優先すべきことは、この目まぐるしい速さで感染が拡大している病気に対して、私たちができるすべてのことを行い続ける、ということです」と、サブリーナスタッフ。

ワールド・ビジョン・ジャパンでは、海外事業部緊急人道支援課の加藤奈保美スタッフが2月からポルトープランスに駐在し、安全な水と生活用水の確保のための支援活動を実施しています。

★ワールド・ビジョン・ジャパンとは？

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは、国連経済社会理事会に公認・登録されたキリスト教精神に基づく国際NGO、ワールド・ビジョンを構成している日本の民間援助機関です。当団体は国税庁に認定NPO法人として認定されており、皆さまからのご支援金は、寄付金控除の対象となります。詳しくは <http://www.worldvision.jp> へ

★この件に関するお問合せは

【担当】 蘇畑(そばた)光子、堀切かおり 【Eメール】 msobata@worldvision.or.jp
【電話】 03-3367-7253 【FAX】 03-3367-7652 【携帯】 090-6567-9711